

1. 評価報告概要表

作成日 平成19年 11月7日

【評価実施概要】

事業所番号	2990700011
法人名	有限会社 白 菊 の 里
事業所名	白 寿 荘
所在地	奈良県五條市今井1丁目1番15号 (電 話) 0747 - 23 - 0120
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1
訪問調査日	平成19年10月9日

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 11月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16 人 常勤 9人、非常勤 7人、常勤換算 11.8人

(2) 建物概要

建物構造	木 造
	2階建ての 1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	150,000 無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円(含む・・・おやつ代)			

(4) 利用者の概要(10月9日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	1名	要介護4	2名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 76歳	最低	49歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中西クリニック・関屋病院・西尾歯科
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>当ホームは、近くに商店街や大型店のある住宅地の中に木造2階建てで新築開所されました。周辺の住宅と調和のとれた建物で、ホーム内は木材をふんだんに使い温もりが感じられ、行き届いた清掃で清潔感が溢れています。職員は、基本理念を常に意識し適切な支援に努められており、利用者も、本人の希望やペースが確保されている事から、穏やかかつ自由に生活されています。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>新設後1年未満のため、過去に外部評価の受審はなく今回が始めてです。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の必要性等については正しく認識され、評価結果を全ての従事者に周知されサービスに活かす努力がされていますが、自己評価に当たり、全ての職員が参画することで、より認識を改め効果的に機能すると思われまますので、今後の課題として下さい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は未設置であります。設置に向けた取り組みがなされています。運営推進会議は、運営上の諸課題の解決や今後の展望に関して大きく機能することから早急に設置される事が望まれます。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族等の訪問時や定期的な連絡・報告の際に希望や意見を聞き取る取り組みがなされており、課題があれば、毎月の職員会議で検討する仕組みとなっています。なお、家族的組織作りを検討されていますが、運営上の建設的意見を広く求めるためにも、その立ち上げを期待します。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域密着型に制度改正されたことは、従前以上に地域との関りを重要視されており、利用者の生活圏域の広がり確保と認知症に対する理解やホームに対する協力を得る為にも地域との連携は欠く事が出来ませんので、自治会加入の問題も含め生活基盤の整備を期待します。</p>

2. 評価報告(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の人との関りを第一とした運営理念が作られており、ホーム創設に当たり周辺地域への理解・協力の働きかけがなされ、地域の希望・ニーズに応える姿勢が感じられます。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念は玄関脇に掲出されており、掲出の意義や事業所の目指す方向を利用者や家族への理解・周知はもとより、従事者に対する心構えになることを強く意識されていることから実践の中での言動に反映されています。		
2. 地域との支えあい					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームは住宅地の中にあり、広域的な地域の諸行事に参加されていますが、地元自治会へは未加入状態にあります。事業所側からの働きかけがされていますが、入会に当たっての条件面での調整が難航している模様です。		利用者も地域社会の一員として、普通の生活を送るためには、事業所の孤立化は決していい結果をもたらさない事を認識されていますので、早急に解決されることを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の目的・意義を正しく認識されており、自己評価の結果を従事者に周知し、検証する取り組みが支援の中で活かされています。		自己評価に際しては、より多くの従事者が参画することで、目標が明確になり質の向上に繋がりますので、今後の課題とされることが望まれます。
	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は未設置ですが、構成メンバーや規定等について検討が進められています。		運営推進会議は、事業所運営上の課題解決や今後の展望に関して大きな役割を果たすことが期待できますので、早急に設置されることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所の代表者は、福祉行政に関った経験があることから、定期的に行政担当者を訪問され、運営上の諸課題や支援の有り方等について意見交換されるなど、行政との関りを大切にされています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の健康状態に変化が見られる時には、その都度、連絡・相談され、日常的な暮らしの様子等については、定期的に報告されるとともに、家族等の訪問時にも報告することとされています。		利用者の暮らしの様子や行事での様子等について承知してもらう事も重要と考えられ、定期刊行物の発行計画がありますので、これが家族等の信頼・安心を得る上で大きな効果がありますので、早急に取り組まれることを期待します。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族的なものではありませんが、家族の訪問時や定期的な連絡・報告の際に意見や希望を聞く取り組みがなされており、課題等があれば毎月の職員で検討する仕組みとなっています。なお、相談・苦情担当者も明確にされています。		家族的なもの結成に向けて準備が進められています。利用者と共に生活する上での貴重な意見も拝聴出来ると思慮しますので、早い機会に立ち上げられる事を期待します。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット毎の職員の固定化はされていませんが、利用者の心理的影響を十分認識され、馴染みの関係を大切に対応されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の採用時に、ホームの基本的な考えと支援のあり方を習得させ、一定レベルに到達した段階で外部の研修に参加させる仕組みとされています。なお、ベテラン職員により、日常の業務の中から言動等について指導されています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内同業者や福祉関係施設とのネットワークを構築し、情報交換等を通じて質の向上に反映する取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事業所が訪問し、予定者の生活環境や生活暦等を聞き取り、希望に応じてホームの見学や体験入居を取り入れ、安定した入居につなげる取り組みがなされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	基本理念の一つの柱は、「個人の意思や人格の尊重」にあり、利用者の言動をしっかりと受け止め、本人の状態に合った自由な暮らしへの支援に努められています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族の訪問時等における聞き取り調査や暮らしの中から得られた情報から、利用者ニーズに応え、安心した生活リズムの確保に努められています。なお、意向確認の困難な利用者には、本人の状況を家族に伝え、相談のうえ本人本位のサービス提供に工夫されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、利用者や家族の意向等を踏まえ、目標を定めた個別計画が作成されていますが、利用者の暮らし・思いや職員の気付き等が完全に反映されているようには感じられません。		本人本位の介護計画の作成にあたっては、本人等の意向と共に、関りのある多くの方々の気付き・意見も活かせる取り組みが望まれます。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の身体的・精神的な状態の変化に応じて、適切な対応を心がけられていますが、介護計画を見直すところまでは至っていません。		介護計画は、本人がより良く暮らす上での課題やケアのあり方を示すものであることから、現状に即した見直しは極めて大切です。事業所もこのことについて認識されており、積極的に取り組まれることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	少人数制の特性を活かし、病院受診や買い物支援等柔軟に対応され安心した暮らしの確保に努めています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族と相談され、ホームの協力医療機関とされていますが、かかりつけ医の意見書を貰うこととされています。なお、複数の医療機関との提携がなされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期への対応を模索されている段階にあります。		利用者や家族にとっての大きな関心事の一つは、終末期等に於ける支援のあり方にあると思われます。開設されて日が浅い事でもありますが、これからの課題として検討されることを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	基本理念も、個人の尊重を柱の一つにされており、利用者の性格・精神状態等に配慮し、支援の中で適切な対応がなされています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活の流れは作られています、それに拘る事無く利用者の希望・体調に合わせた支援に徹した姿勢が感じられます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活の中での大きな楽しみの一つが食事にあることから、利用者の能力に合わせ、調理の準備や後片付け等に協働されています。また、利用者の嗜好調査もされ献立に活かす取り組みがなされています。		外部からプロの調理人を招き、利用者の目の前で調理実演する計画がありますが、新鮮な刺激を与え、食べることへの意欲を促す上での効果も期待できますので、実現を期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や時間帯の決まりは無く、利用者のペースや希望に合わせて弾力的な支援がなされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や意向を十分把握され、個々の能力が発揮できる場面(清掃・食事準備・物干し・菜園の収穫等)作りに工夫され、生活に張りりと喜びが実感できるように努められています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの商店街や地藏さん参り等、その日の心身の状態を参考に、閉じこもりをなくす取り組みがなされています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害について正しく認識されており、昼間は一切施錠されてなく、しっかりした見守りによる支援がなされています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練は消防署の指導の下に実施されていますが、地域社会との繋がりが希薄なことから災害時の協力体制を確立するところまで至っていません。		地元自治会への加入を含め、地域社会との良好な関係の構築に努め、災害時の協力体制の整備が望まれます。なお、震災に備え応急物品の備蓄についても検討下さい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分補給の状況は詳細に記録され、また、利用者の状態に合わせて調理方法に工夫されると共に、管理栄養士による栄養チェックが実施されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用生活空間での採光は、自然光の取り入れが十分なされており、浴室やトイレは掃除が行き届き清潔感が溢れ異臭も無く快適に過ごせる環境が整えられています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居に際しては、洋室と和室が用意されており、希望に合った居室が提供されています。なお、居室には、利用者が使い慣れた調度品等が持ち込まれ安心して過ごせる空間となっています。		